



日本遺産のしま  
杵岐・対馬・五島

# 日本遺産講座開催のお知らせ



日本遺産

## 国境の島 杵岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～

全4回講座 (事前申し込み:不要 参加費:無料)

場所:長崎歴史文化博物館 ホール (定員100名)

講師:本馬 貞夫 (長崎学アドバイザー)

11/10 第1回目  
(金) 18:30～20:00

テーマ:  
古代国家の成立と展開  
～ 邪馬台国からヤマト政権  
へ～

講座内容  
杵岐・対馬には、古代日本と大陸(中国・朝鮮半島)との交流と緊張関係を物語る史跡・文化財が多数存在します。この講座では主に原の辻遺跡(杵岐)、金田城(対馬)に焦点をあてます。そして杵岐・対馬にはなぜ式内社(10世紀初めに作成された「延喜式神名帳」に記載されている神社)が多いのかその歴史をひとときながら解説します。

講師:  
本馬 貞夫(長崎学アドバイザー)



11/17 第2回目  
(金) 18:30～20:00

テーマ:  
国家間の交渉・交流と衝突  
～ 遣唐使と元寇、杵岐・対  
馬・五島の位置・役割～

講座内容  
遣唐使の派遣、中国商船の来航など、8世紀に入ると交流の舞台は五島列島にも広がり、各地で発掘される貿易陶磁からは当時の交流の様子がうかがえます。しかし元による侵攻を最初に受けたのも対馬・杵岐でした。今回はあまり馴染みのない遣新羅使にも言及します。

講師:  
本馬 貞夫(長崎学アドバイザー)



11/24 第3回目  
(金) 18:30～20:00

テーマ  
中世東アジア交易網と海商・  
海賊の活動  
～「倭寇」について考える～

講座内容  
14～16世紀、東アジアの海域で国境を越えて活動した人々がありました。倭寇とも海寇とも称されることがありますが、その正体と目的は何だったのでしょうか。また彼らの活動は鉄砲伝来や南蛮貿易、ザビエルの来日とも大きく関連しているとも言われますが、その関係についても考察します。

講師:  
本馬 貞夫(長崎学アドバイザー)  
橋本 正信(長崎県文化振興課主事)



12/1 第4回目  
(金) 18:30～20:00

テーマ  
戦争から平和へ  
～ 秀吉の朝鮮出兵と朝鮮通  
信使～

講座内容  
全国統一を果たした秀吉の野望に巻き込まれた対馬は、朝鮮出兵により領地は荒廃し、経済は困窮します。徳川家康の命を受けた宗氏はあらゆる手を尽くし国交回復にこぎつけ、朝鮮通信使が来日するようになりました。今回は、国境の島ゆえの困難を経て、平和な日常を取り戻した対馬藩と朝鮮通信使の歩みをお話します。

講師:  
本馬 貞夫(長崎学アドバイザー)



長崎県文化振興課

TEL 095-895-2762

FAX 095-829-2336

メールアドレス s38010@pref.nagasaki.lg.jp

# 海の道に浮かぶ「国境の島」

## 時空を超えた

### 大陸との交流の物語

朝鮮半島との間に飛び石のように浮かぶ壱岐と対馬、大陸との間の東シナ海に鎖状に浮かぶ五島列島は、いにしえより、日本と大陸を結ぶ「海の道」の要衝でした。

日本の最果ての島は、どこよりも早く、異国の最先端の文化の導入と交流が行われる一方で、異国へとつながる海の道の最終中継地であり、国防の最前線でもありました。

国境の島を取り巻く蒼い海、青い空、碧い山は、いつの時代も人々のさまざまな想いを受け入れ、島に残る数々の文化財、民俗行事、特産品の一つ一つが、波のように絶え間なく続いてきた交流の歴史、伝統、文化を物語っています。

## ● 主な構成文化財



### 金田城跡

(かねだじょうあと)

1300年以上前、唐や新羅の日本進攻を防ぐ目的で、国防の最前線として築かれた朝鮮式山城跡。山の頂からは防人が見つめていた国境の海が一望できます。

TSUSHIMA



### 原の辻遺跡

(はらのつじいせき)

弥生時代の環濠集落跡で、『魏志倭人伝』に記された一支国(いきこく)の王都。大陸との交易・交流を物語る多くの遺物が出土しています。

IKI



### 三井築

(みみらくのしま)

遣唐使船の最終寄港地であった五島は「亡き人に逢える島」ともいわれ、西の果てに広がる大海原を目の前にすると、遣唐使の命がけの覚悟が偲べれます。

GOTO



### 日島の石塔群

(ひのしまのせきとうぐん)

かつて都や大陸を行き来した海上交易の拠点といわれており、70基以上の墓碑・墓石が累々と並ぶ風景は圧巻です。

SHINKAMIGOTO

## ● 主な特産品



### 対州そば

(たいしゅうそば)

そばは縄文時代後期、中国大陸から朝鮮半島を経由して日本に伝わったといわれ、今から3000年以上前に上陸したそばの原種とほぼ同じものといわれています。



### 壱岐焼酎

(いきしょうちゅう)

大陸から伝来した蒸留方法を利用し、島独自の製法を生み出したといわれています。WTOにより地理的表示の産地に指定され、世界のブランドの仲間入りを果たしました。



### 五島うどん

(ごとううどん)

遣唐使の寄港地でもあったことから、五島うどんは「遣唐使が大陸から持ち帰った」との言い伝えがあり、椿油を使用しているのが特徴で、「幻のうどん」とも称されています。

### ■ 問い合わせ先:

日本遺産「国境の島」推進協議会

[長崎県・対馬市・壱岐市・五島市・新上五島町]

事務局: 長崎県文化振興課

TEL: 095-895-2762

HP: <http://kokkyonoshima.com>



JAPAN HERITAGE

日本遺産

## 日本遺産とは Japan Heritage

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。

2015年4月、長崎県の「国境の島 壱岐・対馬・五島 ~古代からの架け橋~」が日本遺産第1号に認定されました。



日本遺産 国境の島

検索



文化庁 日本遺産魅力発信推進事業